

No.83 >>> Contents

●新会頭就任挨拶一般財団法人大日本蚕糸会 会頭 松島浩道	1
●「カイコを育てよう！ 2024」に取り組んで	—全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン—「カイコを育てよう！ 2024」実行委員会	3
●トピックス		
わくわくふれあいシルクサマーセミナーを振り返って岡谷蚕糸博物館—シルクファクトおかや— 学芸員 森田聡美	4
講演会 「欧州シルクロード復活プロジェクト (ARACNE) について」を開催一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部	6
令和6年度持続的養蚕業確立事業の取組について一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部	10
「夏のわくわくキッズフェス in 日本橋 2024」に共催して和文化・産業連携振興協議会 株式会社 丸上 上達 功	12
●研究・技術情報		
繭糸強度の高いカイコ品種「響明」を用いた和楽器用絹絁の開発 農研機構 カイコ基盤技術開発グループ 上級研究員 伊賀正年 東京農工大学 農学部 生物生産学科 蚕学研究室 (教育・研究分野)	14
 東京農工大学 横山 岳・伊藤克彦	16
●イベント情報		19
●一般財団法人大日本蚕糸会から		
2024年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況		24
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧		26
活動日誌		34
●蚕糸絹関係博物館一覧		35
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧		38
●統計資料 (統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)		41

新会頭就任挨拶



一般財団法人大日本蚕糸会
会 頭 松島浩道

本年6月28日に大日本蚕糸会の会頭に選任されました松島浩道です。

この度、130年以上の歴史と伝統がある大日本蚕糸会に勤務させていただくことになりましたことを大変光栄に思っています。

大日本蚕糸会が、今後とも、養蚕業と川下産業の連携支援や養蚕・蚕糸業に関する研究・技術開発などを通じて、我が国の蚕糸業の発展に貢献できるよう努めて参りたいと考えております。

この場をお借りして、簡単に自己紹介させていただきますと、私は昭和57年に農林水産省に入省し、令和元年に農林水産審議官として退官するまで、農林水産行政に37年余携わりました。その後、令和2年から令和5年までの3年間は、在スロベニア日本大使館に大使として勤務しました。

農林水産省では2度ほど大日本蚕糸会に関わる仕事を担当しました。平成17年から平成18年にかけて養蚕・蚕糸業の振興を所掌する特産振興課長を務め、また、平成26年から平成27年までは生産局長として大日本蚕糸会とお付き合いをさせていただきました。

振り返ってみますと、私が特産振興課長を務めた時は、養蚕・蚕糸政策の大きな変革期でした。農畜産業振興機構(ALIC)では、昭和30年代から続いてきた蚕糸業務が平成20年に完全に廃止され、また、輸入生糸に対する調整金制度も廃止されました。このような状況の中で、国内の養蚕業を振興する方策として、蚕糸業と絹業の連携を支援する新たな事業が始まり、これを需要面から支えるため純国産絹マークの制度も発足しました。

その後、養蚕農家、製糸業者をはじめ関係者の皆さんが、我が国の蚕糸業を振興するため

懸命に努力されてこられたと承知していますが、これまでのところ、そのような努力が必ずしも蚕糸業の回復には結び付いていないのは大変残念なことだと思っています。平成17年の養蚕農家数は1591戸、収繭量は626トンでしたが、令和5年度にはそれぞれ146戸、45トンとなり、この20年足らずの間にそれぞれ1/10以下にまで減少してしまいました。このままでは、かつて我が国の経済発展を支えてきた歴史のある養蚕業、製糸業が消滅してしまうのではないかと強い危機感を持っています。

一方で、近年は繭を繊維原料とするだけでなく、化粧品や食品の原料とする新たな用途を模索する動きもあり、また、国産繭の安全・安心やストーリー性に着目して、国産繭製品の製造・販売を目指すスタートアップ企業や工芸作家等も登場しています。

大日本蚕糸会は、現在、令和3年度から令和7年度までの5年間を対象とする中期事業計画に基づいて、蚕糸功労者に対する表彰事業、蚕糸業・絹業の連携に対する支援、国産絹のPR、蚕糸業に関する試験研究事業等を実施していますが、これから約1年半をかけて、先ほど申し上げたような養蚕業・製糸業の現状や様々な新たな動きも考慮に入れつつ、次期の中期事業計画の策定に向けた検討作業を進めていく予定です。これまでの施策の成果を検証しつつ、関係者のご意見をよく聞いた上で、令和8年3月までに養蚕業、製糸業の今後の見通し等を踏まえた新たな中期事業計画（令和8年度～12年度）を策定して参りたいと考えています。

現在、危機的な状況に直面している我が国の養蚕業、製糸業が、持続的に営まれることが可能となるよう努めて参りたいと考えておりますので、改めて、関係者の皆様方のご理解、ご支援をお願いいたしまして、私の就任のご挨拶に代えたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「カイコを育てよう！ 2024」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

「カイコを育てよう！ 2024」実行委員会

各地の博物館では、地域の特色を活かした博物館展示、催事が行われています。特に夏休みを中心に「カイコの飼育体験」が開催されてきました。こうした活動を統一的、横断的に紹介し、蚕糸業の現状を知ってもらうとともにこれからの蚕糸業を考えようと昨年に続き、「全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン」を実施しましたので、その概要について報告します。

今回参加した機関は、以下の7施設でした。ポスター・チラシ・HPで広報活動を行うこととしました。また、グッズとして参加機関のキャラクター7体を印刷したクリアファイルを作成し、配布しました。カイコの飼育に挑戦した方は約800名で、感想付きのプレゼント応募者も多く、抽選の上商品発送を行いました。

多くの方に蚕糸に関心を持っていただくきっかけとなり、今後に繋がるものと期待しています。



参加施設（博物館）・行事名

参加施設名	参加行事名
群馬県立日本絹の里	学ぼうカイコ
シルク博物館	夏の個人向け蚕種配布
駒ヶ根シルクミュージアム	今年の夏はおうちでカイコ
岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー	夏・秋カイコ学習 わくわくシルクサマーセミナー
西予市野村シルク博物館	カイコを育てよう！ 2024
野外博物館 北海道開拓の村	カイコを育てて自由研究を楽しもう！
ジャパンシルクセンター	カイコと友だちになろう！

わくわくふれあいシルクサマーセミナーを振り返って

岡谷蚕糸博物館—シルクファクトおかや—

学芸員 森田聡美

1. わくわくふれあいシルクサマーセミナーの概要

本セミナーは平成23年から続けている恒例行事となっていますが、その前には、岡谷市の農業生物資源研究所資材開発ユニット（現農研機構）が「親子ふれあいシルクサマーセミナー」を開催していました。当館は農業生物資源研究所（岡谷）がつくば市に統合されるのを機に、岡谷の子どもたちがカイコやシルクの研究者からじかに話を聞き、より深く蚕糸業を知る貴重な機会を継承させたいとの思いを持ちました。そして現在このセミナーは県外からもおかいこさま大好きっ子たちが集まるイベントとなりました。

内容は、毎年恒例の目玉イベント「カイコのドキドキ解剖」にはじまり、研究に取り組む先生からカイコやシルクの未来を担う研究のお話をお聞きします。そのほか当館の見学・糸取り体験・宮坂製糸所見学・まゆ工作などを行うプログラムとなっています。

2. 令和6年度開催報告

日時 令和6年8月10日（土）

9:00～15:30

参加者数 19組44人

（小中学生親子・大人聴講者）



カイコのドキドキ解剖

プログラム

- ・カイコのドキドキ解剖（農研機構 岡田英二）
- ・野蚕を死なせずに糸を取る方法を考える（岡谷市長地小学校5年 八並伸之介）
- ・遺伝子組み換えカイコの蛍光色素を抽出する（農研機構 飯塚哲也）
- ・シルクの魅力（岡谷蚕糸博物館 高林千幸）
- ・博物館の展示を見よう・糸取り体験・製糸工場を見学しよう（岡谷蚕糸博物館 森田聡美・原田留津子・小林宗史）
- ・チャレンジ！まゆ人形作り（岡谷蚕糸博物館 藤森歩・クラフトアシスタント）
- ・閉校式（おかいこ博士認定証授与）

3. セミナーを振り返って

農研機構の岡田先生のご指導により、カイコを解剖する時には緊張し、中にはショ

ックを受ける様子もありました。毎年岡田先生が「命をもらうんだからしっかり学ばないといけないよ」と心構えをお話してくださいます。体の中にはたっぷりと食べた桑の葉が入っている腸、その下には絹糸腺、気門からつながる気管、マルピーギ管などを見つけながら、最後に絹糸腺をよく観察し引っ張って糸状にしてみました。実際にカイコの命をもらい、体の中を見て、触れて調べる体験は忘れられない体験となったと思います。最後の感想発表の時間には「解剖はドキドキしたけど、おかいこさまの体の中がわかってよかった」といった感想を話してくれる子どもが多かったです。

また飯塚先生のお話では、蛍光色の繭を切って色素を抽出する実験をしました。ブラックライトに照らした色素を見てみると、「わあ！ほんとに光ってる」と子どもも大人も盛り上がりました。セリシンの部分に色ができる繭と、フィブロインの部分に色ができる繭、この違いにより作られる製品が違うこと、遺伝子組み換えカイコが作った製品は光るシルクやクモ糸シルクだけでなく、化粧品や、医療分野の薬やワクチンなどにも広がっていくことをお聞きし

シルクの未来を考える時間となりました。

初めての取り組みとして、令和5年度に自由研究の日本一である、全国児童才能開発コンテスト科学部門文部科学大臣賞を受賞した岡谷市長地小学校5年生の八並伸之介さんによる発表をしていただきました。八並さんは小さい頃から昆虫が大好きで採集や飼育をずっとしてきました。令和4年の本セミナーに参加し、そこで信州大学繊維学部の梶浦善太先生の野蚕のお話を聴講し、ウスタビガの飼育についてアドバイスを受けていました。これをきっかけとして、ウスタビガの多頭飼育に成功し、今回の自由研究につながったということです。発表は地道な実験の様子がよくわかる内容であり、野蚕が大好きだという気持ちがあふれんばかりに伝わってきました。保護者の方から感動したとのお声もあり、拍手が何回もおきました。お子さんたちも同じ小学生の研究内容を聞いて、刺激を受けたのではないのでしょうか。

今後も、未来の研究者たちのかけがえない体験の場として、各分野の先生方にご協力を賜りながらこのセミナーを続けていけることを願っています。



八並伸之介さんの講演

講演会

「欧州シルクロード復活プロジェクト (ARACNE) について」を開催

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸絹業振興部

去る8月23日(金)に「欧州シルクロード復活プロジェクト (ARACNE) について」と題し、(一財)大日本蚕糸会、全国シルクビジネス協議会、(一社)日本蚕糸学会、日本シルク学会の4団体共催で講演会を開催しました。

この講演会には行政担当者、大学及び研究機関の研究者、生糸関係の企業の方、養蚕家など、会場に36名、オンラインで48名、合計84名の多くの方々のご参加をいただきました。

講演者・講演補助者・通訳略歴

【講演者】Silvia Cappellozza (シルビア・カッペッロツァ) 博士
1989年に農業科学で修士号を獲得し、1990年からはアグロノミストとして、パドヴァ市にある養蚕研究所で勤務し、2010年からはその責任者。2023年からはカイコと桑のジーンバンクの研究マネージャーとしてご活躍。



【講演補助者】Alessio Saviane (アレシオ・サビアーノ) 博士
2002年に生物学で修士号を取得し、養蚕研究所で長年桑及びカイコの研究に携わり、桑と人工飼料の双方について多くの知見を有する。



【通訳】一ノ瀬俊和氏

東京外国語大学でイタリア語学専攻。1978年から1980年まで、イタリア政府給費留学生としてフィレンツェ大学に留学。国立音楽大学教授やNHKイタリア語講座講師等を歴任し、著書も多数。

欧州シルクロード復活プロジェクト (ARACNE)

欧州シルクロード復活プロジェクト ARACNE (ADVOCATING THE ROLE OF SILK ART AND CULTURAL HERITAGE AT NATIONAL AND EUROPEAN SCALE) は、イタリアの農業研究機構 CREA (the Council for Agricultural Research and Economics) によって設立されたプロジェクトで、EUの研究・イノベーションプログラム (Horizon Europe) に採択されている。

【期間】2023年3月1日～2026年2月28日の3年間

【予算】3年間で300万ユーロ

ヨーロッパのシルク生産に関連する都市や地域、特に博物館や研究センター間の連携と活動の共有を促進し、文化遺産とその保存、保護、価値向上を目的としている。

(詳細は右記 URL 参照 <https://aracneproject.eu/>)

講演会は、蚕糸科学技術研究所の門野所長の司会により進められ、冒頭、主催者を代表して、大日本蚕糸会会頭から以下のような挨拶がありました。

「我が国の養蚕業の現状をみますと、長らく生産農家及び繭生産量の減少が続いていますが、一方で、シルクの繊維以外の用途開発や企業による養蚕等様々な新しい動きも出てきているところ です。

本日の講演会では、ヨーロッパにおけるシルクの歴史やシルク文化遺産の保存の動きなどについてご紹介いただくと承知しています。日本においても、生糸は古代から様々な衣装や工芸品の素材として用いられており、日本の伝統文化を構成する重要な要素の一つとなっています。本日のご講演を通じて、今後の我が国の養蚕業の振興方策を考える上で多くのヒントをいただけるのではないかと期待しています。

さらに、本日の講演会を契機として、シルクロードの西端と東端に位置するイタリアと日本 の間でシルクに関する情報交換が一層活発になり、今後の両国の養蚕業の発展につながるもの となれば幸いです。」

その後、シルビア・カッペッロツァ博士から、講演資料に沿って約 1 時間 30 分のご講演 がありました。

(資料は右記 URL 参照 https://silk.or.jp/wp-content/uploads/jizoku_koenshiryo_001.pdf#view=Fit)



ご講演の後、以下のような質疑がありました。

[質問1] ヨーロッパでは養蚕のアニマルウェルフェアをどのように扱っているか？

(サビアーノ博士)

アニマルウェルフェアについてはヨーロッパで非常に関心の高いテーマです。対象の動物も家畜とか犬等のペットとか人間の仲間としての動物のほか、昆虫等にも広がっています。

アニマルウェルフェアの考え方は伝統的な養蚕の世界でもあり、非常にセンシティブな問題であるが、アニマルウェルフェアの観点からも見ていくことによって環境の保全等にもつながっていくものと思います。同時に、文化遺産としての養蚕という観点からも考えていく必要があると考えています。

[質問2] 桑のゲノム情報の収集についての説明があったが、カイコのゲノム情報の公開についてはどのようになっているか？

(カッペッツォツァ博士)

ゲノム情報についてはEUとしては原則公開するという方針であり、カイコのゲノムについてもそれに従って対応しています。先程ご説明したサイトをご覧ください。

[質問3] フェイスマスクについて、シルクを用いることのメリットは何か。また従来のものと比べてコストはどうか。

(カッペッツォツァ博士)

シルクを用いることのメリットは、アンチエイジングにつながることや自然の素材を用いることにより肌に良い等も考えられます。素材としては化学繊維等様々なものが考えられますが、シルクのように、環境に負荷を与えないような素材を使用することが重要と言えます。

[質問4] イタリアの生糸生産が伸びているという情報があるが、この事業との関係はあるのか。

(カッペッツォツァ博士)

過去には別のプロジェクトもありその成果もあると思いますが、シルクの生産の増加といっても非常に限定されたものとなっています。最近は養蚕農家を増やしていくことを考えています。

[質問5] 新素材について、エレクトロスピニングとあったが、特にヨーロッパではどのような活用を考えているのか。

(カッペッツォツァ博士)

ナノ素材の研究を開始したところであり、まだ紹介できるような具体的なものはありません。このプロジェクトとは別のプロジェクトでエレクトロスピニング法を使った素材開発をしているものがあります。

[質問6] プロジェクトの予算が、3年で300万ユーロという大きな額に驚いているが、大きな額で国を超えてプロジェクトを実施していこうという機運はどこから来ているのか。ヨーロッパの中で自給率を上げたいという共通認識等はあるのか。

(カッペッツァ博士)

一般的に言えば、ヨーロッパで共通の認識ができるという状況ではありません。従来から伝統的な絹産業を発展させようということではやってきましたが、成果は上がっていません。私は考えており、そこでお金を別の形で使えないかと考えました。シルクについては科学的な研究対象として重要ですが、このプロジェクトではシルクをめぐる文化遺産全体を対象としており、科学的な部分はその中の小さな一部分となっています。

[質問7] 博物館等でのアーカイブの活用の説明はあったが、自身の研究機関としてのアーカイブの活用についてはどのように取り組んでいるのか。

(サビアーノ博士)

我々の研究所の博物館では、古い文献や機械などを保存しています。また、カイコだけではなく昆虫一般についても保存しています。

[質問8] 養蚕農家が減少していることについて、イタリアではどのような対応をしているか。

(カッペッツァ博士)

イタリアでは、養蚕農家は減少したというよりもほぼ壊滅の状態となりました。現在養蚕を行っている農家には2つのタイプがあります。一つは伝統的な方法で細々と行っている農家であり、もう一つは全く未経験の若者です。若者は農業そのものに興味があって新しい生き方を求めており、そのような若者にターゲットを絞って増やそうとしているのが現状です。また、農家と加工業者の間の価格等の問題について、農業側だけで考えるのではなく、産業全体で考えるようにしています。



令和6年度持続的養蚕業確立事業の取組について

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸絹業振興部

大日本蚕糸会では、今年度、農林水産省の補助事業「令和6年度持続的生産強化対策事業推進費補助金等（茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（全国的な支援体制の整備事業）」の採択を受け、我が国における持続的養蚕業の確立に向けた方策の検討「持続的養蚕業確立事業」を行っています。

持続的養蚕業確立検討会

事業の実施に当たり、有識者の幅広い助言を得るため、下記12名の委員で構成する「持続的養蚕業確立検討会」（以下「検討会」という。）を設置しています。

	氏名	所属
座長	林 良博	(独) 国立科学博物館顧問
座長代理	中澤靖元	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻教授
委員	芦澤洋平	山梨県養蚕農家
委員	合瀬宏毅	(一社) アグリフューチャージャパン代表理事理事長
委員	河合 崇	ユナイテッドシルク(株) 代表取締役社長
委員	工藤 操	(一財) 消費科学センター企画運営委員
委員	齊藤昭紀	群馬県農政部蚕糸特産課地域特産主監
委員	佐藤正行	福島県養蚕農家
委員	須藤日出夫	小山農業協同組合営農経済部農畜産課
委員	瀬筒秀樹	(国研) 農研機構生物機能利用研究部門絹糸昆虫高度利用研究領域長
委員	土屋真志	碓氷製糸(株) 常務取締役
委員	戸堀真澄	上田蚕種(株) 代表取締役社長

(委員は五十音順)

第1回検討会を7月17日に開催し、以下のような検討を行いました。

議題1「蚕糸をめぐる情勢と今年度の事業計画について」では、新たな混合薬剤による蚕室消毒方法の実証と研修、桑剪定枝のバイオ炭化試験、蚕糸業を核とした地域づくり事例集の作成、新たなビジネス潮流WGの活動計画等について議論しました。

議題2「持続的養蚕業の確立について」では、養蚕業をめぐる具体的な課題の抽出、及び国産繭の試験的入札実施の取組や『蚕糸の日』の制定について議論しました。

委員からは蚕糸業の現状について危機感を共有して取り組むべき等の意見があり、『蚕糸の日』の制定については出席委員全員の賛同をいただき、スピード感をもって進めていくこととしています。

第2回検討会は11月8日を予定しており、事業の進捗状況の確認と、次のステップとして課題の整理を行います。

事業スケジュール

	検討会	消毒剤実証	バイオ炭	地域づくり事例集	新たなビジネス潮流	関係者の集い	国際昆虫学会議展示	技術指導者派遣
4月								
5月	委員依頼		モギ製作所(11日) 阿見町役場(28日)		ヒヤリング対象者 (講演者)の検討		展示構想検討	技術アドバイザー の登録(8日)
6月	委員委嘱(3日)	第1回WG(12日)	阿見町役場(27日)	事例集の企画				
7月	第1回検討会(17日)		桑条採取 ・乾燥	原稿依頼	第1回WG(11日)	集いの開催構想の 検討	蚕糸学会打合せ (2日)	
8月		現地実証			ヒヤリング (講演会:23日)		国際会議場展示 (25日~30日)	
9月			炭化試験	校正・編集				
10月		第2回WG		現地 調査	第2回WG及び ヒヤリング			
11月	第2回検討会(8日)	マニュアル 作成						
12月			桑条採取 ・乾燥					
1月		研修会		事例集印刷	第3回WG及び まとめ			
2月		第3回WG	炭化試験					
3月	第3回検討会					集いの開催		

(詳細は右記 URL 参照 <https://silk.or.jp/business/sustainable/>)

「夏のわくわくキッズフェス in 日本橋 2024」に共催して

和文化・産業連携振興協議会
株式会社 丸上
上達 功



「夏のわくわくキッズフェス 2024in 日本橋」という貴重な機会を通じて、子供たちに日本の伝統文化に触れてもらい、その魅力を再発見するきっかけを提供することができました。本稿では、このイベントの企画背景から、実施内容、そして得られた成果までを報告いたします。

このイベントに参加した和文化・産業連携振興協議会は令和元年に農林水産省第三会議室にて発足した団体で、イ草（熊本県い草生産販売振興協会・畳でおもてなしプロジェクト実行委員会）、茶（日本茶業中央会・東京茶道会）、花き（日本いけばな芸術協会）、蚕糸（大日本蚕糸会・東京織物卸商業組合）の四業界が初めて横断的に連携し、それぞれと関連の深い和文化団体との連携

を深めていく組織を結成したものです。

この団体では定期的に会議を開催していますが、産業の発展のためには目の前の売上ももちろん大切ですが、それと同時に和文化のある生活の素晴らしさをどのように伝えていくべきかを検討しています。その中で、やはり子供たちに和文化に触れてもらい原体験としてもらおうというアイデアが出ました。

当社のある日本橋久松町は、かつては繊維問屋街として栄えていましたが、近年は交通の便の良さから住宅地へと変貌を遂げ、多くの子供たちが暮らすようになりました。その環境の変化をとらえ、2023年8月に当社にて夏休み和文化体験会というイベントを初めて開催しました。開催にあたり、周辺の小学校がフライヤーを配布してくれたこともあり、二日間で小学生56名、保護者を含むと延べ120名以上の方々にご参加いただき、会場は活気に満ち溢れていました。

また、東京織物卸商業組合では、コロナ期間中から地元の手デベロッパである三井不動産様のご協力を得て、“日本橋きものパスポート”という企画や、“七夕ゆか

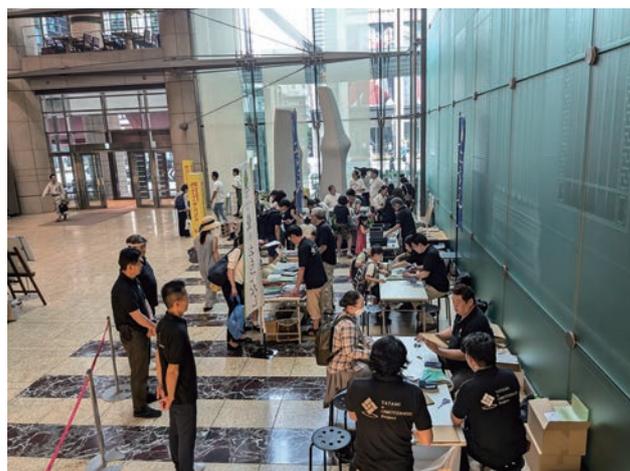
た祭り”というイベントを開催するなど、日本橋エリアに和文化を取り込む活動を継続的に実施してきました。

そんな中、時を同じくして、2023年に日本橋エリアでは三井不動産様が中心となり、町全体の活性化のために、ちょうど同じ趣旨の小学生向けの体験イベント“日本橋キッズサマーキャンプ”が開催されました。これは日本橋エリアで活動する千疋屋、にんべん、タナチョーといった老舗企業から、三井住友信託銀行、スターバックス、マンダリンオリエンタルホテルなどの大企業が参加し、街ぐるみで小学生のお子さまに様々な企業体験をしてもらうイベントです。

そして翌年の2024年開催にあたり、三井不動産様としては日本橋の街のイメージである和文化のコンテンツが欲しいということで、当団体にご提案を受け、7月に開催された“夏のわくわくキッズフェス2024in日本橋”に参加することになりました。また、和文化・産業連携振興協議会は非営利団体であることもご理解いただき、参加しやすい条件をご提示いただくことができました。

イベントの広報活動や子供達の予約受付も運営会社で一括管理してもらい、会場は日本橋三井タワー1階のアトリウムという素晴らしい場所をご提供くださいました。

用意した体験イベントは、着物から東京染小紋の技術を使ったランチョンマット製作。畳といけばなで、ミニ畳を製作した上



にいけばな体験の実施。お茶から冷茶づくりとお茶を学ぶワークショップです。結果、延べ人数200名以上の小学生に和文化を体験してもらうことができました。

このイベントを通じて感じたことは、小学生はとても素直に和文化に興味を持ってもらえたことです。また、お子様が参加すると保護者の方も必ずご同伴いただけるので、大人に対しても和文化を知ってもらう機会が提供できました。そして、今回のイベントに参加することで、他のキッズフェス参加企業とも連携でき、新たな協業への取り組みの可能性を模索しております。小さく始めたイベントですが、このように様々な可能性を広げることができました。

今後も着物のある生活、和文化のある生活を想起できるよう、エンドユーザーと和文化が会う機会を戦略的に創出し、長期的な産業の発展に寄与してまいります。

繭糸強度の高いカイコ品種「響明」を用いた和楽器用絹絨の開発

農研機構

カイコ基盤技術開発グループ

上級研究員 伊賀正年

はじめに

日本の和楽器を含む東アジア周辺の楽器の伝統的な絨はシルクを原料とする絹絨です。しかし、絹絨は摩擦等により演奏中に切れる頻度が高いことなどから、近年ではテトロンなどの化学繊維やスチールの弦が用いられることが多くなっています。しかし、絹絨の音色は化学繊維やスチールの弦のものとは大きく異なるため、絹絨特有の繊細で余韻が綺麗な音色を求める演奏家も多く、耐久性が向上した絹絨の開発が待たれています。そこで、繭糸強度の高いカイコ品種の繭から繰糸した生糸を用いて、耐久性の高い絹絨の開発を目指しました。

繭糸強度の高いカイコ品種「響明」

農研機構ではこれまでに数多くの特徴あるカイコ系統を作出してきました。その中の1つに繭糸強度に優れる高強度系統「MC502」があります。MC502は、中515号と208ABを掛け合わせた雑種第一代に、さらに諸桂を掛け合わせた後代を、10世代以上にわたり繭糸強度を指標に選抜することで作出されました¹⁾。一般的な品種のカイコの繭糸は、1デニール（繊維の太さを表す単位）あたり3～4g程度の力が掛か

ると切れるのに対し、MC502の繭糸は5g程度まで切れず、強度に優れています。一方で、MC502の繭から得られる生糸の量は少ないため、生産性の向上が実用化に向けた課題でした。そこで、他品種との掛け合わせを検討した結果、日137号とMC502を掛け合わせた雑種第一代「日137号×MC502」において繭糸強度と生産性の両立が可能となりました^{2,3)}。詳細は次項でご紹介しますが、日137号×MC502の生糸を用いて作製した絹絨は、複数の絨が共鳴して美しい音を奏で、明るく澄んだ音が鳴り響くことから、本品種の愛称を「響明（きょうめい）」としました。

響明を用いた三味線用絹絨の試作と評価

滋賀県長浜市木之本町で1908年に創業し、現在も琴、三味線、琵琶など、和楽器



図1. 響明の繭と試作した絹絨

の絃を 400 種類以上製造している丸三ハシモト株式会社と共同で、耐久性に優れる絹絃の開発に取り組みました。響明の繭糸特性と独楽撚りなどの伝統の技を組み合わせ、三味線用絹絃（三の糸）を試作し、各種試験を実施しました（図1）。強度や耐久性などの機能性試験では、丸三ハシモト株式会社が販売する最高級の既製品（寿糸極上）と比べ、響明を使用した絹絃は強度が高く、試作した装置を用いた撥絃試験において絃が切れるまでの撥絃回数が 30%以上増加することより、耐久性に優れていることがわかりました（図2）。

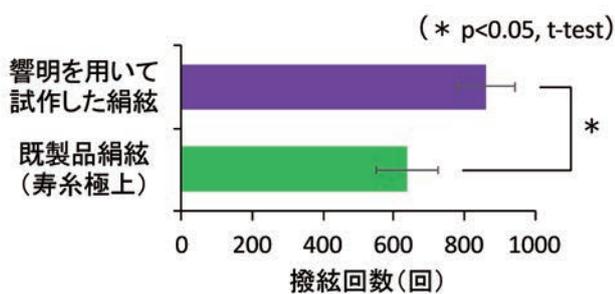


図2. 試作した撥絃試験機による耐久性試験の結果

使用感と音色などの官能試験では、3名のプロの和楽器演奏家の方々に耐久性、毛羽立ちにくさ、糸の弾力、糸の伸び、音質、音量、余韻の7項目について評価をしていただきました（図3）。既製品の寿糸極上に比べ、響明を使用した絹絃は毛羽立ちにくく、耐久性が高いとの評価結果でした。また、音質については、音が硬質で澄んでおり、良く鳴り響く印象で、評価は寿糸極上と同程度の良好な結果でした。加えて、響明を使用した絹絃は、余韻と音量に優れており、

演奏会など、大きなホールでの演奏に適していることがわかりました。

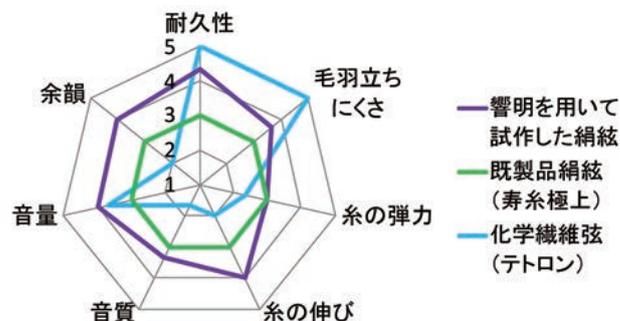


図3. 官能試験による使用感や音色の評価結果

おわりに

繭糸強度に優れる新しいカイコ品種「響明」と現代まで受け継がれてきた絹絃作製の伝統の技が組み合わせることにより、強度と耐久性に優れ、かつ明るく澄んだ美しい音色を特徴とする和楽器用絹絃を開発することが出来ました。本成果が日本の伝統音楽の保存と継承、ならびに響明の高い繭糸強度を生かすことで、新たな分野におけるシルクの需要創出に貢献することを期待します。響明を使用した絹絃の試作と評価は、(一財)大日本蚕糸会「貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成」の支援を受けて実施しました。

参考文献

- 岡田英二・中島健一・伊賀正年・飯塚哲也：「繭糸強度の高い蚕育成系統「MN502」および「MC502」とその交雑種「MN502 × MC502」の性状」日本シルク学会誌、29、39-49、2021。
- 伊賀正年・飯塚哲也・岡田英二・中島健一：「高強度系統カイコの交雑による繭糸質および生糸収率の変化」日本シルク学会誌、29、51-57、2021。
- 伊賀正年・飯塚哲也・岡田英二：「高強度系統「MC502」と普通蚕品種「日137号」の正逆交雑時における繭糸質」日本シルク学会誌、31、35-40、2023。

東京農工大学 農学部 生物生産学科 蚕学研究室 (教育・研究分野)

東京農工大学

横山 岳・伊藤克彦

蚕学研究室は現在、横山 岳教授と伊藤克彦准教授と大学院生 6 名、学部生 10 名で構成されています (図 1 : 学生数は学年によって変動)。研究室の歴史は古く、大学の開校まで遡ります。

研究室と蚕糸教育の沿革 (横山) : 蚕学研究室が所属する東京農工大学 (以下農工大) は開校以来蚕糸教育を担ってきました。農工大は今年創基 150 周年を迎えます。明治 7 年 (1874) に内務省勸業寮内藤新宿出張所に農事修学場と蚕業試験掛が設置されました。場所は現在の新宿御苑にあたります。そこでは、作物、園芸、畜産、養蜂、養蚕、製糸が教えられていました。現在、その痕跡はほとんどありません。唯一、北東角に製糸場の跡が残っています。玉川上水から水を引き込み水車で製糸場を稼働させていたようです。水を引き込んだ水路跡、水を池に放出した水路跡が辛うじて見て取れます。

その後、農事修学場は明治 11 年 (1878) に駒場農学校 (現在の世田谷区) へ、蚕業試験掛は少し間が空いて明治 17 年 (1884) に農商務省蚕病試験場 (現在の千代田区) へと分かれていきます。養蚕が盛んになってきて、国内でも微粒子病が流行り始めた時期だったので、微粒子病に対して防除できる養蚕技術者を養成していました。蚕病試験場の場所は何故か鹿鳴館の隣でした。外国の貴賓者、国内の有力者達が集る隣で、



図 1, 研究室のメンバー :
前列左から 2 人目 : 伊藤、 3 人目 : 横山

蚕の教育をしていたのはちょっと面白い光景だったかと思います。この頃、国を代表する帝国ホテルを作る計画が立てられ、蚕病試験場の地には帝国ホテルが建てられました (正面玄関前に蚕病試験場の碑が建っています)。この際の移動には帝国ホテル設立に関わった渋沢栄一が資金など援助したようです。蚕病試験場は明治 20 年 (1887) に飛鳥山の渋沢栄一の別邸のすぐ隣の西ヶ原 (現在の北区) に移転し、蚕業試験場となりました。その後、明治 24 年農商務省仮試験場蚕事部、明治 26 年蚕業試験場、明治 32 年東京蚕業講習所、大正 3 年東京高等蚕糸学校へと改称されていきました。昭和 15 年に西ヶ原から小金井へ移転し、昭和 19 年東京繊維専門学校となりました。

昭和 24 年 (1949)、東京繊維専門学校は東京農林専門学校 (かつての駒場農学校)

と合併して東京農工大学となります（蚕糸系が繊維学部：小金井市、農林系が農学部：府中市）。昭和 37 年（1962）に繊維学部の養蚕学科が農学部に移り、繊維学部は工学部と改称されます（昭和 37 年は生糸の輸入が開始された年）。昭和 57 年に工学部は改組され、製糸学科が無くなってしまいました。農学部に移った養蚕学科は昭和 49 年に蚕糸生物学科に改称されました（昭和 49 年は生糸の輸出が終焉した年）。蚕糸生物学科は、家蚕生理学、家蚕遺伝学及び発生学、桑樹生態生理学、蚕桑生化学、蚕糸業経営学の 5 つの講座から成り、以下のような蚕糸に関わる科目と実験・実習が行われていました（筆者はこの学科の卒業生です）。

育蚕学*、育蚕学実験*、家蚕生理学*、家蚕生理学実験*、家蚕病理学*、家蚕病理学実験*、家蚕遺伝学*、家蚕遺伝学実験*、蚕種学*、蚕種学実験実習*、家蚕生化学*、桑樹生化学*、蚕桑生化学実験*、栽桑学*、栽桑実験実習*、桑樹生理学*、桑樹生理学実験、蚕糸業経営学*、蚕糸業経済学*、蚕糸経学演習*、蚕糸業政策、製糸学

*印のついているものは必修でした。今振り返ってみれば、昭和後期は蚕糸業の技術が最も充実した時期であり、講義内容も充実したものでしたので、これだけ蚕と桑と経営に関する講義を受けられたことは蚕糸業に関わる者として幸いでした。

平成 5 年（1993）、改組により蚕糸生物学科は生物生産学科、環境資源学科に分かれて、「蚕」の字が学科から消えることとなりました。繊維学部を持つ京都工芸繊維大学、信州大学でもすでに養蚕学科、蚕糸生物学科は無くなっており、日本中から

「蚕」の学科が無くなったことになりました。筆者は改組前の昭和 63 年（1988）に蚕糸生物学科の助手に就職しており、蚕糸教育の学科の最後の教員になるようです。

蚕糸生物学科の 5 つの講座、家蚕生理学は昆虫機能開発学と動物生化学へ、桑樹生態生理学は環境毒性学へ、蚕桑生化学は植物育種学へ、蚕糸業経営学は市場学へ、新たな教育・研究へと変わっていきました。家蚕遺伝学及び発生学は蚕学となり、蚕糸教育を唯一引き継ぐこととなりました。現在でも「蚕糸学」の講義を受け持っています。もともと上記に示した 10 科目以上あったものを 1 科目（15 回）に詰め込んでいるので比べて足りないと感じています。かつては蚕糸学に関わる多くの講義科目がありましたが、現在では「蚕」の字が付く講義は農工大の「蚕糸学」と信州大学の「蚕糸・昆虫バイオテクノロジー」の 2 つしかありません。寂しい限りです。「蚕糸学」を学びたい方は受講可能です。10 月から 1 月まで金曜日午前中に開講しています。今年の受付は終わってしまいましたが、毎年 6 月から 7 月の間に受け付けているようです。詳しくは大学の HP をご覧ください。（<https://www.tuat.ac.jp/admission/kamoku/rishusei/>）

研究室の研究：蚕学研究室では各教員がそれぞれ主に「カイコの胚発生機構の解明」と「カイコの有用突然変異遺伝子の単離とその応用に関する研究」というテーマで研究を進めています（図 2）。多くの突然変異系統を桑葉で飼育し、実験に用いています（図 3,4）。詳しくは研究室の HP をご覧ください。（<https://web.tuat.ac.jp/~kaiko/>）



図 2. 研究課題の概要

研究テーマ (横山) :カイコの胚発生機構の解明, 等々

蚕糸業上重要な幾つかの形質について効率的な育成・生産を行うために必要な知見を得ること目的とし、発生遺伝学や生理学など様々な学術的観点から研究を行っています。また、国内の織物産地の現状と展望について社会科学的に検討しています。

課題 1: 倍数体蚕、単為発生蚕、モザイク蚕の誘発とその誘発機構の解明

課題 2: 倍数体蚕やモザイク蚕を用いた遺伝子発現の解析

課題 3: クワコの生態とカイコの家畜化の過程の解明

課題 4: 21 世紀初頭における蚕糸業の経営に関する研究

研究テーマ (伊藤) :カイコの有用突然変異遺伝子の単離とその応用に関する研究

チョウ目昆虫のモデル生物として位置づけられているカイコでは、今日までに、発育・成長、形態形成、生理形質、行動、さらには罹病性などに特徴がある数百もの突然変異体が発見・作出されています。これらは長い養蚕の歴史の中で選抜された有用な遺伝資源であると言えます。当研究室では、これらの突然変異体の遺伝解析と表現型解析により、カイコが持っているどの遺

伝子の変異が原因となってそれぞれの形質が出現しているのかを、分子レベルで明らかにすることに取り組んでいます。具体的には、図 2 に示す大きく 4 つの課題に基づく研究を進めています。

課題 1: 繭形質に関わる突然変異体の解析により繭の品質および生産性の向上を目指す

課題 2: 罹病性に関わる突然変異体の解析によりカイコに罹るウイルス病の予防を行う

課題 3: 致死や成長遅延および短命に関わる突然変異体の解析によりカイコの発育や寿命を決定しているメカニズムを解明する

課題 4: 体色や斑紋形成に関わる突然変異体の解析により色素沈着や擬態さらには適応進化の解明を目指す



図 3. 約 3,000 本の桑樹の桑園を管理。桑樹を栽培し、収穫している。



図 4. 飼育室での調査の様子：実験に用いるカイコは棚飼いで桑育で育成している。

イベント情報

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「開館 60 周年・リニューアルオープン 10 周年記念 Yumi Katsura の世界」

2014 年、2019 年とこれまでに 2 回ユミカツラのドレスは岡谷で喜びと感動をもたらしました。桂由美氏は生前この 2 回において「シルクにまさる素材はない」と断言し、シルクを作り続ける岡谷に心を寄せていました。日本の伝統美をシルクに託し、世界を魅了し続けるユミカツラの作品をお楽しみください。

〈会期〉 令和 6 年 8 月 22 日（木）～ 11 月 10 日（日） 9：00～17：00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 企画展

「首里織展～ぐんまの生糸が紡ぐ物語～」

豊かな色彩と繊細さが美しい沖縄伝統の染織物。その中でも首里織は、群馬県のオリジナル蚕品種の生糸が使われています。紋織から緋に至るまで多彩に織られる首里織の魅力と、首里と群馬県の養蚕農家との繋がりをご紹介します。

〈会期〉 令和 6 年 9 月 5 日（木）～ 10 月 28 日（月） 9：30～17：00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「手まり展～絹彩でかがる美しき立体世界～」

手まりは小さな球体に美しい世界を表現し、子どもの成長や家の繁栄を願い、親や年長者から若い人へ贈られた伝統工芸品です。本展では、美しく、色鮮やかな手まりを展示し、絹の魅力についてご紹介します。

〈会期〉 令和6年11月2日（土）～12月16日（月） 9：30～17：00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「群馬県作家協会展～明日にいきづく伝統文化～」

絹産業は、養蚕・製糸・染織に携わる職人と、それらに必要な道具や信仰物等を作る多くの「匠」の技に支えられてきました。伝統の技を継承して創作活動を行っている群馬県作家協会会員の作品を展示し、絹文化や創造の魅力をお伝えします。

〈会期〉 令和6年12月21日（土）～令和7年2月3日（月） 9：30～17：00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 秋の特別展

「型が奏でるリズムと色彩－型絵染8人展」

「型絵染」は型紙を用いて布を多彩に染める技法です。基本的には他の型紙と同様の工程がとられますが、型絵染では作家が図案作成から型紙彫り、染め、仮縫いまでを一貫して行うところに特徴があります。本展では、型絵染の染織作家8名をお招きし、着物、帯、壁掛けなどを展示します。それぞれの作家による個性豊かな型絵染の世界をご堪能いただければ幸いです。

〈会期〉 令和6年10月12日（土）～11月24日（日）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）（10/15、21、28、11/5、18）

〈時間〉 9：30～17：00（ただし入館は16：30まで）

〈料金〉 一般700円（500円）、シニア500円（400円）、大学生300円（200円）
小中学生・高校生100円（50円）

※（ ）内は団体料金です。

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

●シルク博物館

【実演・ワークショップのご案内（10～12月）】

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 10月5日（土） | 子ども向けワークショップ まゆ人形作り |
| 10月6日（日） | ワークショップ シルクスカーフ染め体験 |
| 10月12日（土） | 【実演】 手作り真綿 |
| 10月13日（日） | 子ども向けワークショップ 小さなシルクハンカチ染め体験 |
| 10月14日（月・祝） | 子ども向けワークショップ 小さなシルクハンカチ染め体験 |
| 10月19日（土） | ワークショップ くみひもストラップ作り |
| 10月20日（日） | 【講習会】 手紬糸作り |
| 10月26日（土） | 子ども向けワークショップ まわた人形「あひるの親子」作り |
| 11月2日（土） | 子ども向けワークショップ かいことシルクの勉強会 |
| 11月9日（土） | 子ども向けワークショップ まゆ人形作り |
| 11月16日（土） | 【実演】 手作り真綿 |
| 11月23日（土・祝） | 子ども向けワークショップ ランプシェード作り（Xmasワークショップ） |
| 11月24日（日） | 【講習会】 手紬糸作り |
| 11月30日（土） | 子ども向けワークショップ まわたの天使作り（Xmasワークショップ） |
| 12月7日（土） | 子ども向けワークショップ ランプシェード作り（Xmasワークショップ） |
| 12月14日（土） | 子ども向けワークショップ まわたの天使作り（Xmasワークショップ） |
| 12月21日（土） | ワークショップ くみひもストラップ作り |

- ・12月10日（火）～令和7年1月19日（日）『たのしいかいこの発表会』
（12月15日（日）表彰式）

ワークショップの申し込みは事前予約制です。

詳細はホームページをご覧ください。お電話にてお問合せください。

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 企画展 「中国古代復元絹織物展」

会期：令和6年5月16日（木）～8月18日（日）

開催報告：

当館の中国古代復元絹織物51点の中から辰年にちなんで龍の紋様のある絹織物を中心に展示いたしました。会期中のギャラリートークや吉祥結びの房飾りづくり、夏休み企画として龍のぬりえ、けしごむハンコで日中の吉祥紋様を押してみようのコーナーなどのイベントには、多くの方にご参加いただきました。

群馬県立日本絹の里 企画展 「大竹夏紀展 Island In The Sun 水の女神」

会期：令和6年5月25日（土）～7月8日（月）

開催報告：

染色シルクアーティストの大竹夏紀さんは、伝統的な染色技法である“ろうけつ染”で、自身の中に想い描く華やかな少女・女神達を独創的に表現しています。本展では、「水」をモチーフに描き出された新作の大型作品をはじめ、大竹デザインの着物や制作道具などを展示いたしました。会期中には、作家によるトーク会やワークショップを開催し、鮮やかな染料で絹布に映し出される美しきシルク現代アートを多くの方々にお楽しみいただくことができました。

群馬県立日本絹の里 特別展（夏休み展） 「学ぼうカイコ～世界遺産登録10周年記念～」

会期：令和6年7月13日（土）～8月26日（月）

開催報告：

蚕具を展示するとともに、群馬オリジナル蚕品種「ぐんま200」のカイコの大量飼育展示を行い、カイコの生態や養蚕の一連の営みを解説し、蚕糸絹業について興味を持っていただきました。また、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されてから10周年を迎えることを記念し、4つの構成資産である「富岡製糸場」、「田島弥平旧宅」、「高山社跡」、「荒船風穴」についても紹介し、改めて文化的な価値や魅力を伝えました。

シルク博物館 夏休み企画 「かいこ教室」

会期：令和6年7月27日（土）～8月11日（日・祝）

開催報告：

シルク博物館では、7月27日（土）から8月11日（日・祝）まで夏の小学生向け企画「かいこ教室」を開催しました。

この教室では平日に「映画『かいこ』の上映」「かいこの観察会」「まゆ人形作り」「生糸のランプシェード作り」の4つのワークショップを実施し「蚕からシルクまで」を1日で学び、土日には「博物館見学ツアーとまわたスタンド作り」を体験することで蚕や絹についてさらに深く学ぶことができるプログラムとしました。ご参加の皆さんはそれぞれのプログラムでワークシートに熱心に取り組み、またすてきなまゆ人形やランプシェードを作成しお持ち帰りいただき、連日盛況となりました。

2024 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2024 年度第 2 次審査委員会を 2024 年 8 月 28 日（水）に開催しました。今回の申請は 3 者で、すべて既許諾者で、製品の追加 2 者 2 品目、履歴の追加 1 者 1 品目、数量の追加 1 者 3 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、3 者 6 品目に対し、9 月 4 日（水）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(製品の追加) 織匠万勝 代表者名：前田章 (担当者：前田健) 〒 604-8267 京都市中京区姉小路通堀川東入る鍛冶町 173-1 TEL：075-257-5747 表示者登録番号 026	先染帯地 (名古屋帯)	120 本	繭生産 JA 水郷つくば・JA はが野 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 北村善染工所 製 織 自社
(同) COCON 代表者名：田中恵子 (担当者：田中隆) 〒 575-0003 大阪府四条畷市岡山東 5-5-32 TEL：072-876-0774 表示者登録番号 252	(履歴の追加) シュラフ型 シルクシーツ	8 枚	繭生産 JA 利根沼田管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製編・縫製 (株) 森下メリヤス工場
	(製品の追加) シルクスリッパ	9 枚	
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：山口保隆) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物 (振袖)	66 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖)	21 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 篠春織物(株) 染色加工 (株) 千總
	後染反物 (振袖)	6 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2024年度第3次：2024年11月20日（水）
純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2024年10月25日（金）

（連絡先）

〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

一般財団法人大日本蚕糸会

担当：岡島、伊藤

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

伊藤：ito@silk.or.jp

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

2024年8月28日(2024-第2次)現在

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
001	(株)千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株)織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株)丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株)坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有)平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株)信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株)きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株)上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有)樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株)銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有)織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株)結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有)絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有)大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袱紗、帯揚)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類、着尺)、後染反物(色無地)
027	(有)織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウオーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株)丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株)むらかぬ	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株)高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷
031	(株)さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋組、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
063	丸池藤井(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)、八掛
064	久保商事(株)	京都市中京区	和装小物(帯揚、半衿)
065	加賀ゲンゼ(株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋(株)	京都市中京区	後染反物(訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川(株)	京都市下京区	和装小物(帯締、帯揚)
069	(株)紅輪 (株)紅輪 まるやま・京彩 グループ	川崎市宮前区	後染反物(色無地)、白生地(表地(紋意匠))
070	装いの道(株)	東京都千代田区	白生地(帯地、表地)、胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま200、新小石丸)
071	(株)高橋屋	岩手県一関市	胴裏(灰汁浸加工)
072	おお又(株)	大阪市旭区	胴裏(灰汁浸加工)、ニット(靴下)
073	(株)天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏(ぐんま200(灰汁浸加工))、白生地(表地)
074	(株)きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏(パールトーン加工)
075	(株)とみひろ	山形県山形市	胴裏(酵素精練)、白生地
076	(株)細安	福井県福井市	胴裏(酵素精練)
077	京和きもの(株)	神奈川県厚木市	胴裏(酵素精練)
078	(株)まるため	長野県長野市	胴裏(トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株)小川屋	群馬県前橋市	胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株)エムラ	山口県防府市	胴裏(酵素精練)
081	(株)荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏(酵素精練)
082	(株)牛島屋	富山県富山市	胴裏(酵素精練)、後染反物(小紋)
083	(株)谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏(酵素精練)
084	(株)登美屋	岩手県北上市	胴裏(パールトーン加工)
085	(株)川平屋	愛知県豊田市	胴裏(パールトーン加工)、後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
087	(株)大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地(胴裏、比翼地(振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株)綾の手 (旧(株)あきやま)	宮崎県綾町	先染反物(綾の手袖)、洋装品(ショール、マフラー)
090	藤井絞(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)
092	(有)結城屋	兵庫県洲本市	白生地(表地)
093	(株)ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地(表地)
095	(有)カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品(冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品(スーツ地、ネクタイ、服飾品(スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株)平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐(男物、女物)
098	(株)菱健	京都市中京区	後染反物(色無地)
099	西野(株)	京都市上京区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)
101	(株)猪井	新潟県長岡市	後染反物(色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪、マフラー (手織り)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、 パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、 服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗、ネクタイ、帯地 (白塩瀬))
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地、表地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大翻	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 練巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物(着尺(首里織))、先染帯地(首里織)
247	丸八生糸(株)	京都市上京区	白生地(表地)
248	(株)高島織物	京都市北区	白生地(表地)
249	くらしつむぐあとリエ	福井県坂井市	白生地(表地、帯地)、服飾品(ストール)
250	UGAA I	東京都世田谷区	洋装服地
251	石川県立津幡高等学校	石川県河北郡	白生地(牛首紬)、白生地(帯地(牛首紬))
252	合同会社COCON	大阪府四條畷市	寝具寝装品(シュラフ型シルクシート、ナイトキャップ、手袋、靴下、シルクスリッパ)
253	福和商事(株)	東京都中央区	白生地(表地)
254	(株)錦	京都市左京区	洋装品(ジャケット)

月日	活 動 内 容 等
7/3	第4回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/8	和文化・産業連携振興協議会 (農林水産省 農産局)
7/11	令和6年度全国シルクビジネス協議会通常総会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/11	第1回新たなビジネス潮流に関する検討会 (東京有楽町 蚕糸会館)
7/17	令和6年度農林水産省補助事業 第1回持続的養蚕業確立検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/17	「カイコを育てよう！2024」キャンペーン申込受付開始 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/26	和文化・産業連携振興協議会 夏のわくわくキッズフェス in 日本橋 (日本橋 三井タワーアトリウム)
7/31 ~ 8/1	「カイコを育てよう！2024」キャンペーンの蚕配布開始 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/7 ~ 8/8	農林水産省こども霞が関ワークショップ (霞が関 農林水産省庁舎)
8/19	和文化・産業連携振興協議会振興協議会 (農林水産省 農産局)
8/23	新たなビジネス潮流「欧州シルクロード復活プロジェクトについて」 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/25	第27回国際昆虫学会議 (京都府京都市 国立京都国際会館)
8/28	純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/4	第5回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F～8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイタワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ(株)周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業(株)内	0772-72-0307
上垣守国(うえがきもりくに)養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>

<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一社) 日本絹人織織物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMS (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
全国シルクビジネス協議会

<http://www.kinujinsen.com>

<http://www.mawata.or.jp>

<https://tanko.or.jp>

<https://nishijin.or.jp>

<https://www.tafs.or.jp>

<https://www.fashion-kyoto.or.jp>

<https://www.wasou.or.jp>

<https://kyokai.kougeihin.jp>

<https://japan-silk.org>

【大学・試験研究機関】

農業・食品産業技術総合研究機構
北海道大学 (応用分子昆虫学研究室)
宇都宮大学 (分子昆虫学研究室)
東京大学 (昆虫遺伝研究室)
東京農工大学 (蚕学研究室)
東京農工大学 (生体分子構造学分野)
名古屋大学 (資源昆虫学研究室)
信州大学繊維学部
京都工芸繊維大学 (応用生物学課程)
九州大学 (家蚕遺伝子開発分野)
九州大学 (昆虫ゲノム科学研究室)
群馬県蚕糸技術センター
群馬県繊維工業試験場
京都府織物・機械金属振興センター
(地独) 京都市産業技術研究所
(公財) 衣笠繊維研究所

<https://www.naro.go.jp/index.html>

<https://www.agr.hokudai.ac.jp/r/lab/applied-molecular-entomology>

<https://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology>

<https://sites.google.com/view/igblab-ut-aba/top>

<https://web.tuat.ac.jp/~kaiko>

<https://sites.google.com/go.tuat.ac.jp/nakazawa-lab/home>

<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~yousan>

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles>

<http://www.bio.kit.ac.jp>

<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/kasan/insect/top.html>

<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/igs>

<http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>

<https://www.tec-lab.pref.gunma.jp/textile>

<http://www.pref.kyoto.jp/oriki>

<http://www.tc-kyoto.or.jp>

<http://krf-textile.com>

【学会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jssst.sakura.ne.jp>

<http://jsss.or.jp>

<https://jsws-yasan.com>

【博物館等】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館
駒ヶ根シルクミュージアム
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)
はたや記念館ゆめおーれ勝山

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

<https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/silkhakubutsukan>

<https://www.tuat-museum.org>

<https://komagane-silk.com/>

<https://silkfact.jp>

<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>

【博物館等】

美馬蚕糸館

<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

野外博物館 北海道開拓の村

<https://www.kaitaku.or.jp>

富岡製糸場

<https://www.tomioka-silk.jp/tomioka-silk-mill/>

群馬県立世界遺産センター

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	42
(2) 養蚕農家数の推移	43
(3) 繭生産数量の推移	44
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	45
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	46
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	47
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	48
(12) 製糸工場の操業状況	49
(13) 生糸在庫数量の内訳	50
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	51
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	52
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	53
(18) 絹織物生産数量	54
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	55

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	57
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	58

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,319
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	1,444
2023	146	45	308	0.2	7	33	—	1,242
前年比(%) 2023/2022	89.6	88.2	98.5	100.0	100.0	150.0	—	86.0

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

- ・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である
- ・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織織物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

暦年 Calendar Year 項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
2023	146	126	78	130
前年比 (%) 2023/2022	89.6	86.3	87.6	91.5

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (~2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002~2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005~2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009~).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕
	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
2023	45	17	11	17	308	135	141	131
前年比 (%) 2023/2022	87.2	81.8	87.6	92.9	98.4	98.5	96.6	103.1
2023年 構成比 (%)	100.0	37.0	24.8	38.2				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡 数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫 数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
暦年 Calendar Year									
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2023	154	2,936	0	3,157	859	7,495	137	2,515	3,213
2022 -									
1	12	379	0	436	823	588	2	264	233
2	8	222	0	199	854	484	32	162	316
3	19	541	0	481	933	667	33	178	348
4	15	—	1	159	788	412	30	214	355
5	13	500	0	476	825	857	7	256	326
6	15	426	0	313	953	703	7	256	355
7	12	291	0	333	923	893	19	227	330
8	16	473	0	411	1,001	764	17	224	290
9	16	149	0	222	944	688	10	248	283
10	14	187	0	347	798	642	4	262	323
11	12	297	0	227	880	739	9	287	310
12	16	180	0	149	927	509	11	226	258
2023 -									
1	13	271	0	345	866	650	10	209	182
2	10	179	0	270	785	309	10	118	285
3	14	295	0	272	822	705	15	221	316
4	17	—	0	142	697	514	9	222	292
5	14	460	0	504	667	742	2	221	289
6	15	221	0	126	777	791	12	205	291
7	11	218	0	280	726	578	23	230	258
8	11	354	0	290	801	742	6	227	251
9	10	198	0	221	788	681	14	216	257
10	11	218	0	193	824	599	20	224	265
11	12	364	0	382	818	658	10	214	255
12	16	157	0	132	859	526	6	208	272
2024 -									
1	11	234	0	223	881	492	6	262	203
2	13	290	0	263	921	438	12	139	241
3	10	335	0	343	923	352	20	143	284
4	8	—	0	22	909	557	13	220	262
5	11	366	0	426	860	545	4	212	322
6	10	196	0	177	889	351	25	213	247
7	15	352	0	512	744	746	7	225	249

資料：(A) (C) (D) 中央蚕糸協会 (2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~) (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局
備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)
(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year						
2015	378	0	146	86	36	110
2016	317	0	98	103	38	78
2017	339	0	107	95	53	84
2018	339	0	106	104	65	63
2019	269	1	102	46	30	90
2020	203	1	51	76	4	71
2021	160	0	39	52	10	59
2022	168	0	38	50	12	68
2023	154	0	43	36	18	57
2022 -						
1	12	—	4	4	1	3
2	8	—	3	3	0	2
3	19	—	5	7	0	7
4	15	—	0	7	5	3
5	13	—	0	8	0	5
6	15	—	2	7	0	6
7	12	—	3	2	1	6
8	16	—	4	2	1	9
9	16	—	5	4	1	6
10	14	—	5	4	0	5
11	12	—	5	2	1	4
12	16	—	2	0	2	12
2023 -						
1	13	—	3	3	2	5
2	10	—	0	4	4	2
3	14	—	2	5	4	3
4	17	—	3	2	2	10
5	14	—	5	4	1	4
6	15	—	5	3	0	7
7	11	—	6	2	0	3
8	11	—	3	5	0	3
9	10	—	5	1	2	2
10	11	—	5	2	0	4
11	12	—	5	3	0	4
12	16	—	1	2	1	12
2024 -						
1	11	—	5	2	1	3
2	13	—	3	3	2	5
3	10	—	2	4	0	4
4	8	—	2	2	0	4
5	11	—	1	1	0	9
6	10	—	4	1	1	4
7	15	—	6	5	0	4

資料：中央蚕糸協会 (2010.4~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~)

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: Central Raw Silk Association (2010.4~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks: Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生産 Produc- tion	輸入 Import					輸出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
2023	166	45	0	121	3	7	6	105	121	20	0	0	7	13	101	45
前年比 (%) 2023/ 2022	96	100	—	95	82	88	97	95	95	90	—	—	87	93	96	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2015	116	159	115
	2016	115	110	120
	2017	103	120	103
	2018	92	117	78
	2019	89	97	70
	2020	72	73	69
	2021	55	57	67
	2022	46	59	54
	2023	43	50	37
2022 -	1	0	4	62
	2	1	3	60
	3	0	7	53
	4	0	5	48
	5	1	5	44
	6	10	5	49
	7	8	5	52
	8	7	5	54
	9	1	6	49
	10	18	5	62
	11	1	4	59
	12	0	5	54
2023 -	1	0	4	49
	2	0	4	44
	3	2	5	41
	4	0	5	37
	5	0	4	33
	6	9	5	34
	7	10	4	40
	8	3	3	40
	9	1	3	37
	10	9	4	43
	11	3	4	42
	12	1	5	37
2024 -	1	0	3	34
	2	0	4	30
	3	0	4	26
	4	0	3	23
	5	3	3	20
	6	8	3	24
	7	9	5	28

資料：中央蚕糸協会 (2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況
Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
2015		8	110	33	30	263	53
2016		8	110	29	26	267	55
2017		8	110	31	28	266	59
2018		8	74	34	46	253	57
2019		8	74	27	36	239	51
2020		8	74	23	31	218	48
2021		7	74	15	20	214	43
2022		7	64	14	22	230	41
2023		7	44	15	34	235	41
2022 -	1	6	74	10	14	15	35
	2	6	74	14	19	14	35
	3	6	74	17	23	23	35
	4	6	74	19	26	19	35
	5	6	74	16	22	17	34
	6	6	74	12	16	21	34
	7	6	74	13	18	22	36
	8	6	74	13	18	18	33
	9	7	44	18	41	21	41
	10	7	44	13	30	21	40
	11	7	44	12	27	19	40
	12	7	44	14	32	20	41
2023 -	1	7	44	15	34	16	42
	2	7	44	16	36	17	40
	3	7	44	17	39	21	42
	4	7	44	15	34	21	34
	5	7	44	15	34	21	34
	6	7	44	17	39	21	44
	7	7	44	15	34	22	44
	8	7	44	12	27	16	41
	9	7	44	12	27	19	41
	10	7	44	13	30	22	41
	11	7	44	16	36	20	41
	12	7	44	13	30	19	41
2024 -	1	7	44	14	32	17	41
	2	7	44	13	30	20	41
	3	7	44	13	30	19	41
	4	7	44	9	20	20	40
	5	7	44	12	32	19	40
	6	7	44	15	34	21	43
	7	7	44	17	39	22	43

資料：中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : Central Raw Silk Association(2012.12~2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks : 1.The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2.Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3.Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出入業者 Ex and Importers
年月 Year & Month				
暦年 Calendar Year				
2015	1,410	94	1,316	
2016	1,406	130	1,276	
2017	1,747	156	1,591	
2018	1,330	230	1,100	
2019	1,429	238	1,191	
2020	1,066	178	888	
2021	868	170	698	
2022	927	127	800	
2023	859	144	715	
2022 - 1	823	163	660	
2	854	160	694	
3	933	163	770	
4	788	160	628	
5	825	155	670	
6	953	146	807	
7	923	131	792	
8	1,001	134	867	
9	944	135	809	
10	798	134	664	
11	880	125	755	
12	927	127	800	
2023 - 1	866	129	737	
2	785	125	660	
3	822	131	691	
4	737	138	599	
5	667	138	529	
6	777	143	634	
7	726	142	584	
8	801	139	662	
9	788	135	653	
10	824	137	687	
11	818	140	678	
12	859	144	715	
2024 - 1	881	138	743	
2	921	138	783	
3	923	138	785	
4	909	133	776	
5	860	133	727	
6	889	136	753	
7	744	138	606	

資料：中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

Source: Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦年 Calendar Year						
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2021	3,067 (31)	1,852 (25)	1,182 (5)	—	—	—
2022	3,646 (45)	2,402 (44)	1,222	—	22 (1)	—
2023	2,936 (52)	1,880 (52)	986	50	19	—
2022 - 1	379 (8)	253 (8)	115	—	11	—
2	222 (5)	122 (5)	100	—	—	—
3	541	372	169	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	500	374	126	—	—	—
6	426 (10)	225 (10)	202	—	—	—
7	291	260	30	—	—	—
8	473 (5)	235 (5)	229	—	10	—
9	149	109	40	—	—	—
10	187 (5)	151 (5)	36	—	—	—
11	297 (5)	191 (5)	105	—	—	—
12	180 (6)	109 (5)	71	—	1 (1)	—
2023 - 1	271 (10)	117 (10)	154	—	—	—
2	179	111	68	—	—	—
3	295 (5)	253 (5)	40	—	1	—
4	—	—	—	—	—	—
5	460	231	229	—	1	—
6	221	170	—	50	1	—
7	218	120	87	—	10	—
8	354 (10)	264 (10)	87	—	3	—
9	198 (10)	132 (10)	66	—	—	—
10	218 (5)	163 (5)	55	—	—	—
11	364 (11)	253 (11)	111	—	—	—
12	157	65	89	—	3	—
2024 - 1	234 (2)	234 (2)	—	—	—	—
2	290 (14)	130 (14)	161	—	—	—
3	335	325	10	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	366	250	116	—	—	—
6	196 (12)	103 (12)	93	—	—	—
7	352 (9)	211 (9)	140	—	—	—

資料：財務省関税局

備考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks: 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2015		14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016		12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017		14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018		11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019		10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020		6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2021		6,136	3,472	2,217	2	0	442	3
2022		7,945	4,670	2,665	2	0	608	0
2023		7,495	4,309	2,572	3	—	610	1
2022 -	1	588	353	220	—	—	15	—
	2	484	260	167	—	—	57	—
	3	667	463	173	—	0	30	—
	4	412	214	143	—	—	55	—
	5	857	438	342	—	—	76	—
	6	703	469	143	0	—	90	—
	7	893	554	284	—	0	56	—
	8	764	379	313	—	—	71	—
	9	688	455	207	—	—	25	—
	10	642	367	244	1	—	30	—
	11	739	430	218	0	—	92	—
	12	509	287	211	—	—	10	0
2023 -	1	650	364	185	—	—	101	—
	2	309	238	15	—	—	55	—
	3	705	537	143	—	—	25	—
	4	514	271	233	—	—	10	—
	5	742	371	217	1	—	154	—
	6	791	596	195	0	—	—	—
	7	578	290	238	—	—	51	—
	8	742	395	296	—	—	50	0
	9	681	384	239	0	—	58	—
	10	599	346	226	1	—	25	0
	11	658	284	325	1	—	48	—
	12	526	233	260	—	—	33	0
2024 -	1	492	336	156	—	0	—	0
	2	438	208	178	—	—	52	—
	3	352	223	129	—	0	—	0
	4	557	308	230	—	—	19	—
	5	545	263	265	0	—	17	0
	6	351	159	168	2	0	21	—
	7	746	418	255	0	—	73	—

資料：財務省関税局

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks: Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, 円/kg

Unit: bale of 60kg, yen/kg

項目 Item	輸入生糸（通関ベース）					輸入絹糸（通関ベース）				
	Raw Silk Imprt					Silk Yarn Import				
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2021	1,852	7,096	1,183	6,390	3,472	7,177	442	7,154	2,217	6,676
2022	2,358	8,878	1,222	9,124	4,670	9,496	608	10,387	2,665	9,557
2023	1,828	9,499	986	10,302	4,309	9,874	610	11,679	2,572	9,946
2022 - 1	245	8,104	115	7,528	353	8,346	15	8,423	220	7,713
2	117	8,382	100	7,700	260	8,633	57	8,411	167	7,716
3	372	8,372	169	7,689	463	8,646	30	8,583	173	8,385
4	—	—	—	—	214	8,871	55	8,822	143	9,048
5	374	9,118	126	9,037	438	9,600	76	9,824	342	9,365
6	215	8,889	202	9,132	469	10,100	90	9,885	143	9,583
7	260	8,987	30	10,208	554	9,623	56	11,211	284	10,240
8	230	8,956	229	10,064	379	9,575	71	11,292	313	9,986
9	109	9,488	40	10,084	455	9,878	25	10,797	207	10,121
10	146	9,383	36	11,078	367	10,105	30	12,240	244	10,547
11	186	9,679	105	10,563	430	10,177	92	12,391	218	10,894
12	104	8,966	71	10,104	287	9,633	10	11,374	211	9,908
2023 - 1	107	8,577	154	9,724	364	9,238	101	10,705	185	9,185
2	111	9,322	68	9,899	238	9,001	55	11,256	15	11,271
3	248	9,059	40	9,667	537	9,450	25	11,647	143	9,058
4	—	—	—	—	271	9,490	10	11,069	233	9,072
5	231	9,266	229	9,864	371	9,510	154	11,338	217	9,411
6	170	9,259	—	—	596	9,872	—	—	195	10,033
7	120	9,362	87	10,617	290	10,258	51	12,109	238	10,330
8	254	9,413	87	10,314	395	10,133	50	11,964	296	9,986
9	122	10,059	66	10,956	384	10,128	58	12,519	239	10,370
10	158	10,118	55	10,388	346	10,522	25	12,029	226	9,878
11	242	10,088	111	11,326	284	10,528	48	12,767	325	10,411
12	65	10,296	89	10,893	233	10,672	33	12,782	260	10,753
2024 - 1	232	10,147	—	—	336	10,230	—	—	156	10,613
2	116	10,188	161	11,358	208	10,671	52	12,711	178	10,685
3	325	10,407	10	12,133	223	11,036	—	—	129	11,494
4	—	—	—	—	308	11,413	19	13,902	230	11,041
5	250	11,006	116	12,258	263	11,527	17	14,251	265	11,560
6	91	11,019	93	12,417	159	11,399	21	14,281	168	11,314
7	202	11,146	140	12,747	418	12,120	73	14,673	255	11,592

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau ,Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics									
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics		
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn			
年 月 Year & Month	暦 年 Calendar Year										
		2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
		2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
		2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
		2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
		2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
		2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
		2021	1,319	840	587	9	244	336	128	208	143
		2022	1,444	1,016	716	0	300	280	72	208	148
		2023	1,242	817	548	0	269	288	82	206	136
	2022 -	1	104	71	51	0	19	22	7	15	12
		2	124	90	61	0	29	22	6	16	12
		3	124	87	66	0	21	24	6	18	13
		4	126	87	70	0	17	25	6	19	15
		5	123	89	64	0	25	23	5	18	11
		6	145	105	76	0	29	24	6	18	16
		7	121	82	65	0	18	24	7	17	15
		8	112	78	63	0	15	23	6	17	11
		9	104	70	47	0	23	24	6	18	11
		10	118	81	55	0	26	24	6	18	13
		11	121	88	51	0	37	24	6	18	10
		12	121	88	48	0	40	23	7	17	9
	2023 -	1	106	75	52	0	23	23	7	16	8
		2	99	65	45	0	20	23	6	17	12
		3	104	63	48	0	15	25	7	18	16
		4	112	73	54	0	19	25	7	18	14
		5	113	77	48	0	29	24	7	17	12
		6	110	72	47	0	25	25	7	18	12
		7	100	63	45	0	18	25	8	17	11
		8	101	68	44	0	24	23	7	16	10
		9	93	59	41	0	18	23	6	17	10
		10	102	68	42	0	26	25	7	18	9
		11	107	73	42	0	31	24	7	17	10
		12	95	61	40	0	21	23	7	16	10
	2024 -	1	94	61	44	0	17	23	7	16	10
		2	97	60	40	0	20	23	7	16	12
		3	93	56	44	0	12	28	11	17	10
		4	93	54	42	0	12	29	12	17	10
		5	103	66	36	0	30	28	11	17	9
		6	92	54	34	0	20	28	11	17	9
		7	95	52	35	0	17	29	12	17	13

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 2023年分までデータ補正がある。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks: 1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. Data are corrected until 2023.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,319	108.6	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022	1,444	109.5	158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2023	1,242	86.0	147,196	92.6	11,657	97.2	254,378	90.4
2022 -								
1	104	115.2	10,399	104.7	983	127.2	22,277	113.5
2	124	131.2	12,746	107.9	982	107.9	20,744	98.4
3	124	126.9	12,376	107.4	863	76.4	25,113	93.8
4	126	118.8	14,948	104.8	1,111	147.2	26,693	101.3
5	123	113.2	11,207	96.7	1,127	118.4	22,216	89.5
6	145	118.2	14,645	110.9	1,237	142.2	26,282	90.4
7	121	111.3	14,540	99.1	996	106.2	22,233	91.3
8	112	115.8	11,938	118.9	939	87.6	20,915	86.3
9	104	93.7	13,993	103.3	845	77.4	24,163	98.3
10	118	100.1	14,932	98.3	1,109	106.8	23,440	88.9
11	121	92.7	13,737	101.3	961	65.7	23,932	89.5
12	121	91.2	13,521	94.5	835	62.8	22,127	91.4
2023 -								
1	106	102.1	9,451	90.9	1,011	102.8	24,615	110.5
2	99	80.0	12,892	101.1	836	85.1	19,786	93.6
3	104	83.6	11,963	96.7	901	104.4	24,475	97.5
4	112	88.8	13,330	89.2	878	79.0	23,422	89.2
5	113	91.9	11,894	106.1	1,197	106.2	22,043	100.1
6	110	75.9	13,523	92.3	952	77.0	23,807	89.1
7	100	82.4	13,194	90.7	1,121	112.6	18,686	83.9
8	101	90.4	8,952	75.0	855	91.1	16,250	76.8
9	93	89.2	14,213	101.6	684	80.9	20,410	81.2
10	102	86.5	12,354	82.7	989	89.2	19,502	83.2
11	107	88.1	12,399	90.3	1,030	107.2	20,270	83.5
12	95	78.5	13,030	96.4	1,203	144.1	19,688	90.7
2024 -								
1	94	88.3	8,032	85.0	885	87.5	14,648	61.1
2	97	97.8	13,377	103.8	1,043	124.8	17,070	86.2
3	93	89.4	11,675	97.6	999	110.9	18,682	73.4
4	93	83.0	12,093	90.7	997	113.6	20,584	86.9
5	103	91.2	10,096	84.9	722	60.3	21,751	99.9
6	92	83.6	13,031	96.4	702	73.7	16,369	68.4
7	95	95.0	10,794	81.8	876	78.1	15,860	84.9
8			8,492	94.9	546	63.9		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 絹織物生産数量の数値は2023年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The figures of silk fabric production quantity are corrected until 2023.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

—資料・海外—

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China	710,634	720,805	714,999
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan	17,912	21,374	20,942
イラン	Iran	589	1,407	1,794
タイ	Thailand	4,858	5,011	3,715
ブラジル	Brazil	3,055	3,047	2,742
ベトナム	Vietnam	8,145	11,855	14,937
北朝鮮	North Korea	2,500	2,643	2,643
トルコ	Turkey	94	90	90
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	18	18	18
シリア	Syria	0	1	1
主要国の計	Total	933,475	951,486	931,306

区 分		2021年	2022年	2023年
		トン	トン	トン
日本	Japan	61	51	45
中国	China	750,036		
インド	India	187,241	199,752	215,642
ウズベキスタン	Uzbekistan	22,770	24,300	
イラン	Iran	1,680	2,309	
タイ	Thailand	3,593	3,693	
ブラジル	Brazil	2,211	1,807	
ベトナム	Vietnam	16,444	16,824	
北朝鮮	North Korea	2,643	2,591	
トルコ	Turkey	76	69	
ブルガリア	Bulgaria	-	-	
インドネシア	Indonesia	21	24	
シリア	Syria	2	1	
主要国の計	Total	986,778	251,421	215,687

注: 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド纖維省中央蚕糸局(CSB)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国はFAOの統計値を使用。

Note: Figures of China are based on the data of the China Silk Association. Figures of Japan are based on the data of the The Dainippon Silk Foundation, Ministry of Textiles in The Dainippon Silk Foundation. Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India. Others than these countries, based on the data of International Sericulture.

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格
Spot Price of Various Silk Goods

2024年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	148.40 ~ 163.80	3,265 ~ 3,604
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	170.20 ~ 184.80	3,744 ~ 4,066
3	玉繭(double cocoon)		110.50 ~ 136.00	2,431 ~ 2,992
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	131.80 ~ 174.80	2,900 ~ 3,846
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	477.80 ~ 515.40	10,512 ~ 11,339
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	482.80 ~ 523.00	10,622 ~ 11,506
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	482.80 ~ 515.40	10,622 ~ 11,339
8	玉糸(doupion silk)	110d	458.00 ~ 470.00	10,076 ~ 10,340
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.50 ~ 47.50	935 ~ 1,045
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.50 ~ 71.00	1,375 ~ 1,562
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	53.20 ~ 58.00	1,170 ~ 1,276
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	46.20 ~ 51.00	1,016 ~ 1,122

注:1元=22円

1CNY=22JPY

2024年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	151.67 ~ 164.67	3,337 ~ 3,623
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	171.33 ~ 190.67	3,769 ~ 4,195
3	玉繭(double cocoon)		111.00 ~ 136.17	2,442 ~ 2,996
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	130.67 ~ 173.00	2,875 ~ 3,806
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	476.67 ~ 514.67	10,487 ~ 11,323
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	482.33 ~ 523.00	10,611 ~ 11,506
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	481.33 ~ 514.33	10,589 ~ 11,315
8	玉糸(doupion silk)	110d	458.00 ~ 470.00	10,076 ~ 10,340
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.50 ~ 47.50	935 ~ 1,045
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.50 ~ 71.00	1,375 ~ 1,562
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	53.00 ~ 58.00	1,166 ~ 1,276
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	46.00 ~ 51.00	1,012 ~ 1,122

注:1元=22円

1CNY=22JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2024年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	155.25 ~ 167.50	3,416 ~ 3,685
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	173.25 ~ 198.00	3,812 ~ 4,356
3	玉繭(double cocoon)		112.00 ~ 136.50	2,464 ~ 3,003
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	131.50 ~ 173.50	2,893 ~ 3,817
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	484.00 ~ 524.50	10,648 ~ 11,539
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	491.25 ~ 533.00	10,808 ~ 11,726
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	482.75 ~ 515.75	10,621 ~ 11,347
8	玉糸(doupion silk)	110d	458.00 ~ 470.00	10,076 ~ 10,340
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.50 ~ 47.50	935 ~ 1,045
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.50 ~ 71.00	1,375 ~ 1,562
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	53.00 ~ 58.00	1,166 ~ 1,276
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	46.00 ~ 51.00	1,012 ~ 1,122

注:1元=22円

1CNY=22JPY

2024年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	145.60 ~ 167.80	2,912 ~ 3,356
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	170.80 ~ 199.80	3,416 ~ 3,996
3	玉繭(double cocoon)		112.20 ~ 136.50	2,244 ~ 2,730
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	130.00 ~ 173.80	2,600 ~ 3,476
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	483.60 ~ 527.00	9,672 ~ 10,540
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	491.80 ~ 535.00	9,836 ~ 10,700
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	482.60 ~ 515.60	9,652 ~ 10,312
8	玉糸(doupion silk)	110d	458.00 ~ 470.00	9,160 ~ 9,400
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.50 ~ 47.50	850 ~ 950
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.50 ~ 71.80	1,250 ~ 1,436
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	53.00 ~ 58.00	1,060 ~ 1,160
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	46.00 ~ 51.00	920 ~ 1,020

注:1元=20円

1CNY=20JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp>

シルクレポート 2024年10月号 No.83 令和6年10月1日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず